



大腸がんになる人が増えています!

大腸がんは、適切な治療を受ければ多くの場合治すことが可能とされています。そのためには予防と検診による早期発見が大切です。あなたや大切な人の健康を守るために正しい知識を身につけ、がん検診を受けましょう。

問い合わせ いきいき健康課 ☎24・8056

Q 日本人に多い大腸がんとは?

がんの種類別罹患数 (男女全年齢)

- 1位 大腸がん
- 2位 肺がん
- 3位 胃がん
- 4位 乳がん
- 5位 子宮頸がん

出典：国立がん研究センター「がん登録・統計2019」

A 大腸がんとは、大腸に発生する悪性腫瘍(がん)のことです。初期は自覚症状がなく、進行すると腹痛、便秘、下痢などの症状が出ることもあります。手術ができる早期の段階で見つければ、原因となるがんをきれいに切除し、その後の治療をきちんと行うことで多くの場合治すことが可能です。



教えて、先生!

小松市民病院 内科医師 又野 豊さん

健診(検診)がスタート

受けて安心! がん検診

ハガキなどによる申し込みは既に終了しました。申し込みをしていないけれども受診を希望する人は、いきいき健康課にご連絡ください。



検診項目	内容	受診場所	対象
胃がん	胃部X線検査(バリウム)	公民館など(検診車)	40歳以上の人
	胃内視鏡検査(カメラ)	指定医療機関	50歳~74歳の偶数年齢の人
肺がん・結核	胸部X線検査	公民館など(検診車)	40歳以上の人
大腸がん	便潜血検査	指定医療機関	
乳がん	乳房X線検査(マンモグラフィ)	公民館など(検診車)	昨年度受診していない40歳以上の女性
		指定医療機関	昨年度受診していない40歳~59歳の女性
子宮頸がん	細胞診検査	公民館など(検診車)	20歳以上の人
	細胞診検査、内診	指定医療機関	

※年齢は令和7年4月1日現在

Q 予防・早期発見のためには?

A 予防のためには禁煙、節酒、運動を心がけましょう。過度な肥満にならないことも大切です。日頃から便の状態を確認し、異常があれば受診しましょう。また、自覚症状のない早期にがんを見つけることができれば手術可能な場合が多いので、1年に1度は検診を受けると安心ですね。



Q 大腸がんになる原因は?

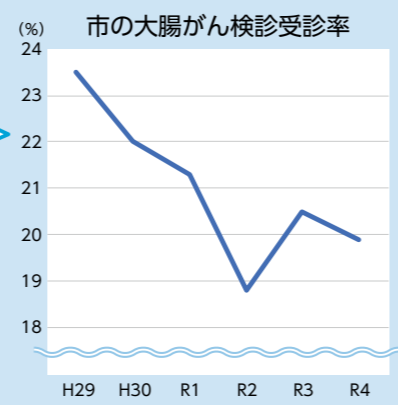
A 胃がんなどと違ってはっきりとした原因は分かっていますが、肥満、運動不足、過度の飲酒、喫煙などによってかかるリスクが高くなると言われています。また、少数ですが遺伝性の場合もありますので、身内にかかった人がいる時は注意が必要です。



Q どんな検査をするの?

A 大腸がん検診では、便の中に血液が混入しているかどうか調べる便潜血反応検査を行います。検便を提出するだけで9割以上見つけることができるので、気軽に受けてもらいたいですね。精密検査は内視鏡検査をします。現在は柔らかくて痛みが少ない内視鏡や、鎮痛剤を使うなど、身体の負担が少なく行える施設もあります。早く発見することが大切なので、精密検査を勧められた場合は怖がらずに受けてほしいです。

検診の受診率が低下しています。がんの発見数も減少しており、本来検診で発見されるはずのがんが未受診により見すごされている可能性があります。



年に1回の健康チェック! はつらつ・長寿健康診査

自覚症状がなくても身体の中では血管などに変化が起こっています。健診では糖尿病の検査項目(血糖値・HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー))、コレステロール、血圧、肝臓や腎臓の機能など、一度に多くの検査項目を調べることができます。治療のために定期的に医療機関を受診している人も、健診には普段の受診の際に検査していない項目が多く含まれる場合があります。医師と相談して、年に1回は健診を受けましょう。

注意
全国健康保険協会(協会けんぽ)など、国民健康保険以外に加入している人は、加入している医療保険者へ健診内容や受診方法などをお問い合わせください。

	はつらつ健診	長寿健診
期間	6月20日(木)~10月15日(火)	
対象	・国民健康保険に加入している40~74歳の人 ・生活保護世帯の40~74歳の人	・満75歳以上の人 ・後期高齢者医療制度に加入している65~74歳の人
料金	700円	500円
	※生活保護世帯の人は無料	
内容	診察、血液検査、血圧測定、尿検査など	
受診方法	受診券(6月中旬に対象者へ郵送)・保険証・料金を持って指定医療機関で受診してください。	